



おおもとますゆき
大本益之議員



未来への投資！ 子どもの教育充実を望む

議員 子どもの教育について、①学力・学習状況調査の結果から、笠岡市の傾向をどうみるか②ICT機器の活用状況や今後の展開③少人数指導研究についての現状と課題④小中一貫校、中高一貫校についての検討状況⑤子どもの貧困の実態、をたずねる。

教育長 ①国実施分では小6が全国平均並み、中3は平均との差が縮まっており改善が見られる。県実施分では4教科全体の平均正答率すべて県平均を上回っている。学習習慣の定着に課題が見られ、小・中学校で連携し習慣化を図るよう努めている。

②教員は、日常的にICTを活用した授業を行い、その充実ぶりは先進的な取り組みといえる。今後は2020年を目標に順次、児童・生徒用タブレット型PCの整備な

どを想定している。

③現在、2小学校と4中学校に少人数加配の教員を配置し、学力向上を目指し積極的に取り組んでいく。教員同士の情報交換や共有、研修や校内体制づくりに一層力を入れる必要がある。

④総合教育会議で、施設一体型の小中一貫校の設置を協議しており、その中で中高一貫校の話も出ている。それぞれの特色を十分に検討し、第7次笠岡市総合計画の構想で練り上げていきたい。

市長 ⑤笠岡市の就学援助率は小中学生を合わせて15・5%に上る。教育の支援や、教育、保育及び子育て支援事業にかかわる経済的負担の軽減などに重点を置き、家庭の経済状況にかかわらず子どもが健やかに育ち、自立していくことで、貧困の連鎖を断ち切りたい。



うまこしゆうせい
馬越裕正議員



読んで、知って、学ぶ場として、 図書館の役割を踏まえた改革を

議員 笠岡市立図書館の今後の充実に向けての具体的な対策と内容についてたずねる。

市長 まず、年中無休、朝9時から夜9時までの開館を目指す。実際にどうという開館日、開館時間にするかは、アンケートを実施し、市民の皆さまの意見を聞きながら、来年4月に向けて準備していく。また、飲食や学生たちの自習、語らいの場となるオープンカフェとWiFiも設置予定である。

そして、読書機能と情報提供機能が果たせるように工夫していく。特に、ニーズが高まっている雑誌や新聞などを充実する。さらに、できるだけ新刊図書を買えるように十分な配慮をしていきたい。

議員 図書館新設の可能性についてたずねる。

市長 第7次笠岡総合計画の策定に際し、基本構想を策定していく。図書館を市民の集う魅力的な場所とするために多くの人が行き交う駅周辺に建設することの意義は大きいと考える。建設に至るステップについては、例えば、教育委員会に整備検討チームを発足させて、笠岡市新図書館整備基本構想を策定し、実施計画を策定する段階でワークショップ等を開催するといった、市民の皆さまとともに、じっくりと計画を作り上げる作業を行いたいと考えている。

また、完成にあわせて、図書館の愛称を募集し、我が町の図書館という市民意識の高揚を図りたい。